



2026 年 7 月 10 日

各 位

会 社 名 アイダエンジニアリング株式会社
代表者名 代表取締役社長 鈴木 利彦
(コード：6118 東証プライム)
問合せ先 管理本部 副本部長 熊谷 彰仁
(TEL. 042-772-5231)

中期経営計画「AIDA Growth 30」の成長戦略を加速
北米・インドにおける生産・サービス拠点強化に関するお知らせ

アイダエンジニアリング株式会社（以下、当社）は、中期経営計画「AIDA Growth 30」に掲げる成長戦略『FA 事業拡大』『サービス事業拡大』の具現化の一環として、北米およびインドにおける生産・サービス拠点の強化を推進いたします。

米国ミシガン州では、Dallas Industries 社と HMS Products 社の生産拠点を統合した新工場を建設し、北米における生産ライン一貫供給体制の確立を目指します。また、インド・チェンナイでは、サービス工場を新設し、展示・販売機能の拡充と顧客サポート体制の強化を図ることで、拡大するインド市場への対応力を高めてまいります。

詳細につきましては、次頁以降をご参照ください。

以上

米国ミシガン州での新工場投資に関するお知らせ

ー北米における生産ライン一貫供給体制の確立ー

アイダエンジニアリング株式会社（以下、当社）は、2025 年に買収した子会社である Dallas Industries 社（以下「Dallas 社」）および HMS Products 社（以下「HMS 社」）の生産拠点を統合することを決定し、米国ミシガン州にて新工場建設のための土地取得及び工場建設にかかる契約を締結いたしました。

■投資概要

所在地：米国ミシガン州オーバンヒルズ
投資額：約 3,300 万米ドル（約 53 億円）
土地面積：約 82,000 平方メートル
竣工：2027 年末予定
稼働：2028 年度中を予定

■背景・経緯

当社は米州におけるプレスラインの生産体制構築、ターンキービジネスの強化を展望し、ブランク材供給・搬送装置に強みを持つ HMS 社とコイル材供給装置に強みを持つ Dallas 社を買収し、プレス加工ラインに必要となる主要な自動機のグループ内製化を進めてまいりました。買収した子会社の設備の老朽化、また設備稼働率が 100%に達していること等で取引先の要求する納期に対応できない状況が発生していることから、今回生産拠点の統合による効率性向上、生産能力増強を実現すべく、本件投資に至ったものです。

また本件は米国トランプ政権下における対米投資拡大に沿ったものであり、現地での投資インセンティブ取得を想定しております。

■戦略的意義

(1) 生産ライン一貫供給体制の確立

プレス機に加え、自動機（材料供給・搬送）を含む生産ライン全体を現地で一括提供する体制を構築、ターンキービジネスを確立してまいります。これにより設備の最適化と導入効率の向上を実現するものです。

(2) 地産地消モデルの実現

取引先の自動機メンテナンス負担、制御仕様の観点からの現地調達ニーズに対応する地産地消モデルを実現するものです。これまで親会社からの自動機輸入にかかっていた輸送コストや関税負担を低減し、価格競争力の強化と迅速なサービス提供を両立します。また、従来は取引先が個別に調達していた周辺自動機についても、プレス機械と組み合わせた一体提案を行うことで、案件単価の向上と受注領域の拡大を図ります。

(3) 先端テクノロジー拠点への進化

生産設備の自動化、デジタル化、製品 AI 対応、環境負荷低減ニーズに対応し、FA 機の製造・開発機能を集約し、北米市場における次世代の先端テクノロジーセンターとして位置付け、技術開発の中核を担っていきます。

(4) 統合によるシナジー効果

Dallas 社と HMS 社は、現在それぞれ独立拠点で運営されており、生産能力や効率面における制約が生じており、統合により以下のシナジー効果を見込んでおります。

- 生産能力増強による受注機会の最大化
- 拠点統合による効率化推進ならびに固定費の削減
- 本邦の技術・製品を導入した製品群の拡充による競争力強化
- 販売ネットワークの相互活用による売上拡大
- ターンキーソリューションを提供するにあたり、各設備（AIDA・Dallas・HMS）のシームレスなインテグレーションを実現
- 各社のサービス人員の互換性向上によるサービス能力の強化

最後に、本新工場は、買収・統合・現地化を一体で推進することで、北米における競争力を抜本的に強化する戦略拠点となります。

当社は本投資を起点に、プレス機と自動機の一体提案を通じて、案件単価の向上、受注領域の拡大、サービス収益の増加を実現し、北米事業を当社の成長エンジンとしていくものです。米州における FA 事業については、現在の約 50 億円規模から、早期に 100 億円規模への拡大を目指してまいります。



北米における生産ライン一貫供給体制の確立を担うミシガン新工場（イメージ図）

インド・チェンナイのサービス工場建設に関するお知らせ

ーインド経済拡大による需要増加への対応とサービス体制強化ー

アイダエンジニアリング株式会社（以下、当社）は、AIDA INDIA PVT. LTD. のチェンナイオフィスをサービス工場として拡張することを決定いたしました。すでに新工場建設のための土地取得は完了しており、現在工場建設にかかる契約締結の準備を進めております。

■投資概要

所在地：インド タミルナド州 チェンナイ

投資額：約3億円

土地面積：約3,440平方メートル

工場面積：約1,797平方メートル

竣工：2026年末予定

稼働：2027年度上期中を予定

■背景・経緯

当社はインド市場における営業・サービス拠点として2007年から北部デリー近郊のグルガオンに、2019年から南部チェンナイにオフィスを設けております。チェンナイオフィスは汎用型のプレス機械のショールームとしての機能を有し、展示即売による短納期需要に対応しておりました。しかし近年、自動車や電動スクーター、家電（エアコン等）、携帯電話といった製品の需要が急速に拡大し、その需要増加への対応強化が課題となっておりました。そこで、展示面積の拡張およびさらなる顧客サポートの充実を目的として、郊外の工業団地に移転し、新たにサービス工場として建設することとなりました。

■サービス工場建設により見込まれる効果

- (1) 敷地拡大による展示即売台数の増加
- (2) クレーン設備などの充実による取扱い機種種の拡大（2ポイント機、サーボプレス機等）
- (3) 納入機のオーバーホール等への対応による顧客サポート力向上
- (4) 将来的な自動機システム提案やレトロフィット工事といった新ビジネスへの体制整備

今後の計画として、自動車関連の日系メーカーの進出増加が期待される西部地域における新たな営業・サービス拠点の設立も検討しており、拡大するインド市場への対応に、引き続き注力してまいります。



インド市場のサービス体制強化を担うインド・チェンナイ新工場（イメージ図）